

## アジア諸国で省エネ推進指導者を育成しています

### 【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター (ECCJ) は、国際機関アジア生産性機構 (APO) に対する協力として、2015年度から APO メンバー国 20か国のうちモンゴル・スリランカ・ネパール・バングラデシュ及びパキスタンの5か国を対象に核となる省エネ推進指導者（各国5名程）の育成 (TOT: Training of Trainers) を行っています。具体的には、次の活動を2017年半ばに完了する目標で実施し、これらの指導者が各国で自立的に省エネ関係者を育成できるよう礎を築き、各国の省エネ推進に貢献する事を目指しています。

- (1) 研修カリキュラムとテキストを作成し将来の指導者の研修を日本と対象国で実施。
- (2) 研修で得た知識に基づき各国の協力工場で省エネ活動に取り組み研修成果を検証する。
- (3) 工場での活動の実施結果によりカリキュラムとテキストを最終化する。
- (4) 育成した指導者は各国で最終化したカリキュラムやテキストを使い研修を行う。また協力工場の成果も理解を早める具体的事例として活用し、更に多くの省エネ推進者を育成する。



日本での第1次 TOT (2016年2月) : 参加者と指導員たち及び講義等の状況

### 【事業進捗 : これまでに実施した活動と成果】

#### 1. 各国の調査と育成カリキュラムの設計及びテキストの準備

対象国の省エネ推進に関する制度の整備状況及びこれら制度を含め省エネ推進者の育成に関する官民の具体的な研修・資質認定等の取組み状況、そして各国の実際の省エネ推進状況に基づく省エネ推進者育成の具体的なニーズを調査し、本事業で育成すべき省エネ推進指導者の要件を設定しました。これらの結果に基づき育成カリキュラムを設計しテキストの案を作成しました。

#### 2. 省エネ推進の核となるべき指導者の選定

対象国において、各国の生産性本部やその傘下の企業及び省エネ人材育成に係る官民の機関の関係者から各国5名ずつ選定されました。

#### 3. 日本での第1次研修 (TOT) の実施

最初の TOT を2016年2月に日本で実施しました。

策定したカリキュラム案に基づく研修プログラムに従い作成したテキストを使って研修を行い、

カリキュラムやテキストの内容を検証すると共に参加者が各国で行う人材育成研修や協力工場での活動を実施するための活動計画を策定しました。

なお、この研修には対象5か国から各国5名の25名に加え、他のAPOの他の加盟国10か国からの参加者13名、全部で38名が参加しました。

#### 4. 対象国における第2次研修 (TOT) の実施

日本でのTOTに引き続き対象国で第2次TOTを実施しています。第2次TOTに先立ち、第1次TOT結果に基づきカリキュラムとテキストを改善し、これらを活用しています。

第2次TOTでは、各対象国で将来の省エネ推進の核となる省エネ推進指導者と一緒に、現地の産業関係者に対する研修を実施するとともに、協力工場を訪問し工場での省エネ指導推進者の活動に対する助言を行います。これまでに、モンゴルとスリランカで第2次TOTを実施しました。最初に協力工場が決定したモンゴルでは、まず、2015年12月にモンゴル生産性本部や協力工場の関係者等約60名を集めキックオフセミナーを実施した後、各工場を訪問し改善のポイントと省エネの取組の方向性を助言しました。その後、同国で選定された省エネ推進指導者が日本での第1次TOTに参加し、同国での省エネ関係者の育成と協力工場での活動のより具体的な計画を立案しました。そして2016年5月に現地でこれらの活動のフォロー等以下を実施しました。

- モンゴル生産性本部と省エネ指導者を含む産業部門の関係者等20名を対象とするセミナー
- 協力工場（食品や配電分野の3工場）での活動の進捗確認と把握した課題を含む改善策の助言

#### 対象国での第2次TOT (2016年5月以降)の実施状況



モンゴル：研修会（左 セミナーワークショップ参加者、右：工場関係者向けセミナー）



モンゴル：協力工場での調査指導（左 食品工場の排水回収設備、右 配電会社の変圧設備）

更に、スリランカでは第2次TOTを2016年5月に実施しました。スリランカの生産性本部は組織が充実して組織も大きく、国内の省エネ人材育成をリードする中核組織となっています。

第2次TOTでは以下の具体的な活動を実施しました。

- ◎ スリランカ生産性本部の関係者を始め協力工場関係者等約50名が参加してセミナーを実施。
  - ◎ 協力工場（新聞などの印刷工場）での活動の進捗確認と把握した課題を含む改善策の助言
- モンゴルにおいてもまたスリランカにおいても、選定された省エネ指導者を中心に大変活発な討議が交わされ、各関係団体が前に進める実りある活動を実施する事が出来ました。

このような活動を通じ対象国における活動を支援し省エネ人材の育成に協力しています。



スリランカ：研修会（左 セミナー参加者、右 講義の状況）



スリランカ：印刷工場での調査指導（左 新聞印刷設備、右 調査結果に基づく討議・助言）

#### 【今後の計画】

引き続き他の対象国を含め各対象国で第2次TOTを実施する予定です。

これらの活動の結果を反映し、テキストを最終化すると共に育成された各対象国の省エネ推進指導者が更なる省エネ推進者を育成する計画を策定するために、協議と助言を通じた支援を行う予定です。